

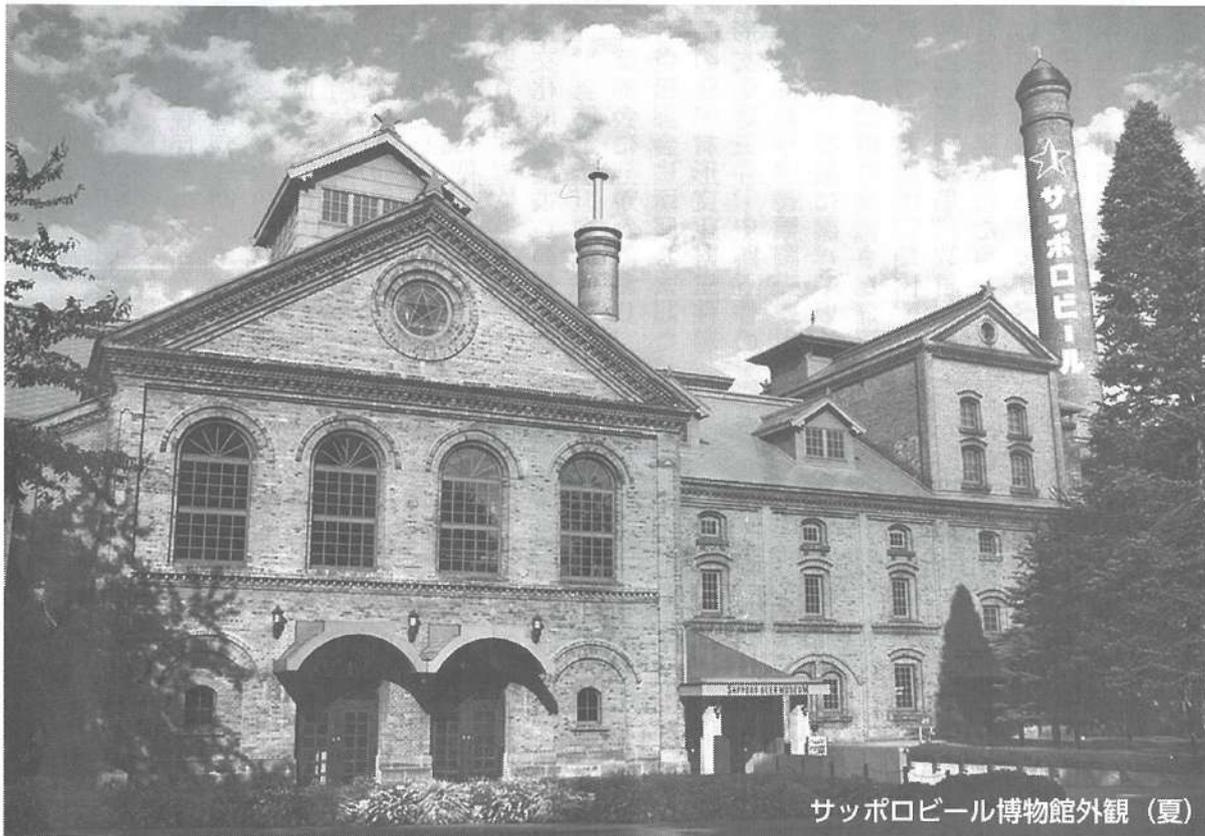
# 文化情報

会報 Vol.407  
令和8年1月1日発行  
SINCE 1961  
一般財団法人  
北海道文化財保護協会

〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7ビル9階 電話・FAX:011-271-4220

Website ; <https://hokkaido-bunkazai.jp>

E-mail ; [bunho@abelia.ocn.ne.jp](mailto:bunho@abelia.ocn.ne.jp)



サッポロビール博物館外観(夏)

## サッポロビール 創業150周年に向けて

サッポロビールの前身である開拓使麦酒醸造所が明治9(1876)年に現在のサッポロファクトリーの地に開業してから今年150周年となります。これまでサッポロビールを応援してくださっている皆様に心より感謝申し上げます。

昨年4月から8ヶ月かけてサッポロビール博物館、サッポロビール園開拓使館の屋根と外壁、煙突の大規模改修工事を行いました。

この建物は明治23年に札幌製糖会社の工場として建てられ築136年になります。その後札幌麦酒株式会社がこの建物を買取り、明治38年から昭和40年までビールの原料となる麦芽をつくる製麦工場として60年間使用してきました。製麦工場としての役割を終えた建物は、昭和41年に開拓使麦酒記念館(現在のサッポロビール博物館)とサッポロビール園開拓使館としてリニューアルオープンいたしました。

隣にある煙突は高さ50.11m、直径3.6mで現存するれんが造りの煙突としては国内で最も高い煙突です。今回の工事の際、改めて計測し直しました。煙突の頂上に登ると、晴れた日には石狩湾の洋上風力発電所まで見渡すことができます。

平成24年以来13年ぶりとなった大規模修繕工事は、施工は大成建設で、江別市の「米澤煉瓦」で製造したれんがを約2,800枚を用いて外壁や煙突のひび割れ箇所を張り替え、煙突の赤い星のマークや社名も塗り替えました。今回は建物や煙突の周囲に足場を作り、クレーンで資材を持ち上げて工事を行いました。136年前に果たしたのと同じようにしてれんが建物や煙突を造り上げたのかと思いを馳せ、先人たちの苦勞が忍ばれます。

今後もサッポロビールはこの建物とともに北海道のみなさまに愛され続ける企業を目指してまいります。どうぞよろしく願っています。

(サッポロビール博物館館長 半田輝雄)